

## 滝川教授が環境省の「有明海・八代海再生策検討小委員会」の委員長に就任

有明海・八代海の特別措置法に基づき環境省に設置されている「有明海・八代海等総合調査評価委員会」の委員である滝川教授が、具体的な再生策を策定するために、表記の評価委員会に設置された「海域再生対策検討作業小委員会」の委員長に就任しました。有明海・八代海の①再生像，②再生手順，③再生技術の評価などに関する取り纏めを行うもので、その成果が大いに期待されています。

## お知らせ

### 1. 平成25 (2012) 年度・公開実習予定

#### (合津マリンステーション)

1) 「ヤドカリの殻交換実習」(合津マリンステーション)・「干潟観察会」(上天草市永浦干潟)・「海蛸観察会」(上天草市樋合海岸)を上天草市と共催で、7～8月に実施します(日時は未定)。

「ヤドカリの殻交換実習」は、ヤドカリの貝殻の奪い合いを簡単な実験で調べます。「干潟観察会」は、ハクセンシオマネキなどのカニ類の行動を観察します。「海蛸観察会」は、夜の海岸で神秘的に光る海蛸を採集します。詳細は、合津マリンステーション(0969-56-0277)または天草ビジターセンター(0969-56-3665)にお問い合わせ下さい。

2) 「公開臨海実習：行動生態学実習」

#### (大学間単位互換実習)

大学公開実習A：8月21日(水)～27日(火)

大学公開実習B：9月6日(金)～12日(木)

(どちらの実習も6泊7日。合津マリンステーションに宿泊)。

大学生対象。

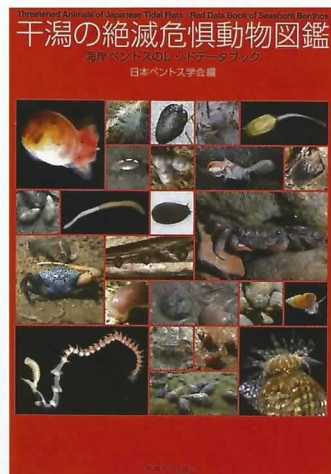
実習Aでは、ハクセンシオマネキとヤドカリ類、実習Bではハクセンシオマネキ・コメツキガニとヤドカリ類を対象に、行動生態学の講義と実習(野外観察、室内実験)を行います。単位認定については各大学の事務で確認して下さい。募集人員は各15名(先着順)。

なお、合津マリンステーションまでの交通や実習の詳細は、HP(<http://www.geocities.jp/henmiy21/>)で確認できます。

### 2. 書籍の紹介

1) 「干潟の絶滅危惧動物図鑑 海岸ベントスのレッドデータブック」(日本ベントス学会編) 東海大学出版会 4,800円+税

干潟の絶滅危惧動物651種(貝類・甲殻類など)が、美しい写真と共に掲載されています。また、全種について、現在の分布、減少要因、生態情報などが解説されています。沿岸域センターの逸見泰久教授が編集委員長を務め、「日本の干潟の現状」などを執筆した他、絶滅危惧種17種の解説をしています。



2) 「豊穡の海・有明海の現状と課題」(日本水産学会監修) 恒星社厚生閣 3,600円+税

有明海の水産有用種、その餌となるプランクトン、さらに物理環境についての最新の知見が、平易な文章で解説されています。沿岸域センターの逸見泰久教授が、「有明海におけるハマグリ(ハマグリ)の生息状況と資源管理に向けた取り組み」を執筆しています。



連絡先：〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号  
熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター  
事務連絡先：熊本大学教育研究推進部自然科学系事務U  
TEL：096(342)3143 FAX：096(342)3010  
HP：<http://engan.kumamoto-u.ac.jp/index.html>